

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 4月の講演会では話題のChatGPTなど生成系AIについて一橋大学名誉教授の野口悠紀雄氏に講演して頂きました。実際に使ってみた結果、メリットは因数分解などの計算、翻訳、論文の要約など文章に関わる作業では非常に効率上がる面がある。ただし、映画

や小説に続きを書かせると、実に平凡な内容になるなど、クリエーティブな文章はまだまだ書けない。現段階では、人間が細かく指示することが不可欠で、そこにこそ人間の仕事の意味が残ると指摘されました。6月号に掲載されます。

4月の新会員をご紹介します。農林中金総合

研究所社長の高義行様、同専務の福田仁様、三井住友銀行日本橋法人営業部長の狭川拓哉様、武蔵野銀行秘書室長の柳屋圭祐様です。

6月の講師は中央大学教授の庄司克宏氏、毎日新聞記者の田中裕之氏、証券ジャーナリストの前田昌孝氏、笹川平和財団の渡部恒雄氏、慶應義塾大学教授の廣瀬陽子氏の予定です。

◆中部◆ 4月に法政大学教授の小黒一正氏が来名されました。日銀の2%の物価目標について日本は米国と違い医療費、教育費などサービス価格に政府の規制が多くあって、価格が変動しにくいいため達成は難しいと指摘されました。

6月の講師はジャーナリストの中岡望氏、第一生命経済研究所首席エコノミストの熊野英生氏を予定しています。  
(日暮良一)